

## 明 細 書

### 化粧料容器

#### 関連出願の相互参照

本出願は、2003年1月22日に出願された日本特許出願2003-13742号に基づく優先権を主張し、その内容を本明細書中に援用する。

#### 技術分野

本発明は、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることができる化粧料容器に関する。

#### 背景技術

一般に化粧料容器は、化粧料を収納する容器本体と、この容器本体を開いたり閉じたりする蓋体とを備えて構成されている。そして化粧料容器の外観をなすこれら容器本体や蓋体に対しては、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、スパッタリングなどによって表面処理を行ったり、転写シートを用いて文字や模様などを転写したり、あるいは模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたりするなどして、容器本体や蓋体に装飾を施すようにしていた。

なお、本願出願人は、関連する先行出願として、特願2001-49000号、特願2002-280340号、特願2002-304682号、特願2002-304683号、特願2002-321873号、特願2002-321874号を出願している。

ところで、従来の化粧料容器にあっては、製品としての化粧料容器を高級感溢れる

高い品質で提供するという目的で、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、上記いずれの加飾方法にあっても、容器本体や蓋体に対し加飾部分が一体不可分となるように互いに分離不能に一体的に形成しなければならないという要請があった。

このような要請は反面、化粧料容器の外観が生産者の選定したデザインに限定されることを意味し、購買者が化粧料容器の意匠的外観を、好みに応じて自由に選べるようすることを妨げていた。このため、購買者は気に入ったデザインの化粧料容器を見つけることができず、これが買い控えの一因になっていたと考えられる。

### 発明の開示

本発明は以上の問題点を考慮してなされたものであり、その目的の1つは、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることができる化粧料容器を提供することである。

前記の目的及び他の目的を達成するために、この発明の1つの実施形態に係わる化粧料容器は、容器本体に回動自在に連結されるヒンジ部を有して当該容器本体を開閉する蓋体を備えた化粧料容器において、上記蓋体にこれを覆って交換可能に設けられる交換用カバーと、上記ヒンジ部に、上記交換用カバーへ向かって形成された貫通孔と、該貫通孔内に形成された係合体と、上記交換用カバーに形成され、上記貫通孔内に挿入されて上記係合体と係脱自在に係合する被係合体とを備えたことを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧料容器にあっては、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能となる。

また、この発明の他の実施形態に係わる化粧料容器は、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方の外面に、これらを覆って交換可能に設けられる交換用カバーと、上記蓋

体もしくは上記容器本体の外面側から窪ませて形成された第1の溝と、該第1の溝内部に形成された係合部と、上記交換用カバーに形成され、上記第1の溝内に挿入されて上記係合部に係脱自在に係合される可撓変形自在な被係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体の内面側から窪ませて上記第1の溝に連通させて形成され、該第1の溝内部で上記係合部に係合している上記被係合部を可撓変形させて該係合部から離脱させるべく、該被係合部に操作力を加えるための第2の溝とを備えたことを特徴とする。

そして、この実施形態の化粧料容器にあっては、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることができるとなる。また、被係合部に操作力を加えるための第2の溝を、蓋体や容器本体の内面側から窪ませて形成しているので、化粧料容器の外観を良好なものとなし得る。さらに、係合部と被係合部とを第1の溝内部で係合させるようにしているので、交換用カバーが蓋体や容器本体から不用意に外れてしまうことを適切に防止することができる。

その他、本願が開示する課題、及びその解決方法は、発明の実施の形態の欄、及び図面により明らかにされる。

#### 図面の簡単な説明

第1図は、本発明にかかる化粧料容器の好適な第1実施形態を示す側断面図である。

第2図は、第1図の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す過程を示すヒンジ周辺の部分拡大側断面図である。

第3図は、第1図の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す過程を示すヒンジ周辺の部分拡大斜視図である。

第4図は、本発明にかかる化粧料容器の第1実施形態の変形例を示す側断面図である。

第5図は、本発明にかかる化粧料容器の好適な第2実施形態を示す側断面図である。

第6図は、第5図の化粧料容器の一部分解斜視断面図である。

第7図は、第5図の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す最初の段階を示

すヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

第8図は、第5図の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す途中の段階を示すヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

第9図は、第5図の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す最後の段階を示すヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

### 発明を実施するための最良の形態

以下に、本発明にかかる化粧料容器に関し、幾つかの最良な実施の形態について、添付図面を参照して詳細に説明する。

#### 《第1実施形態》

第1図～第4図は本発明にかかる化粧料容器の第1実施形態を示す。この第1実施形態の化粧料容器101は、第1図～第3図に示すように、収納凹部102が形成された皿状の合成樹脂製容器本体103と、容器本体103の一端にヒンジ104を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体103を開閉するとともに、容器本体103の他端にフック105を介して係脱自在に係合されて当該容器本体103の閉止状態を維持する板体状の合成樹脂製の蓋体106と、蓋体106に着脱自在に設けられ、交換可能に蓋体106を覆う板体状の合成樹脂製の交換用カバー107とから主に構成される。図示例にあっては、これら容器本体103、蓋体106、並びに交換用カバー107は平面外形輪郭が矩形状に形成されるけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体106の裏面には、鏡108が取り付けられている。

フック105は、容器本体103の一端に形成された凹所109内に突設されたフック用突起110と、蓋体106の一端から垂下されてフック用突起110に係脱自在に係合されるフック片111とから構成される。またヒンジ104は、フック105とは反対側において容器本体103の他端から一対突設されたヒンジ片112間に、蓋体106の他端から垂下させたヒンジ部としてのヒンジブロック113が挟み込まれ、これらヒンジブロック113からヒンジ片112にわたってヒンジピン114が挿入されることで構成され、ヒンジブロック113はヒンジピン114によりヒンジ片112を介して容器本体103に回動自在に連結される。

交換用カバー107は、化粧料容器101、本実施形態にあっては蓋体106の意匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー107に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、交換用カバー107に対し一般周知の方法によって一体不可分に分離不能に一体的に形成される。これら交換用カバー107は、その外形輪郭が容器本体103の外形輪郭と一致するようにほぼ同じ外形寸法で形成されるとともに、この交換用カバー107が取り付けられる蓋体106は、取り付け代を確保するためにこれらよりも若干小さな外形寸法で形成され、交換用カバー107はこの蓋体106の上にこれを覆って重ね合わされる。交換用カバー107の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよい。

交換用カバー107と蓋体106との間には、これらを係脱自在に係合する係合手段として、第1係合部115および第2係合部116が設けられる。これら係合部115、116は、蓋体106の両端であるフック105側およびヒンジ104側にそれぞれ位置される。蓋体106のフック105周辺およびヒンジ104周辺は、容器本体103側へ拡張形成されていて、蓋体106の一般部分よりも広いスペースが得られる。フック105側の第1係合部115は、蓋体106側の第1係合体115aと交換用カバー107側の第1被係合体115bとから構成される。第1係合体115aは、フック片111が位置する蓋体106の一側縁全体をヒンジ104側へ向かって段違いに窪ませた凹部117の上に、この凹部117を部分的に覆うように突出させて形成される。また第1被係合体115bは、第1係合体115a側の交換用カバー107の一側縁全体を垂下させた垂下部118から、第1係合体115aに対応する部分を当該第1係合体115a下の凹部117に向かって突出させて形成される。

これら第1係合体115aと第1被係合体115bは、交換用カバー107を蓋体106の上から重ね合わせることによって、第1被係合体115bが第1係合体115aを乗り越えてその下の凹部117内に入り込むことにより、互いに係脱自在に係合されるようになっている。特に、乗り越える過程で第1被係合体115bが第1係合体115aと向かい合う面は、その乗り越えをスムーズにするためにテープ面119で形成される一方で、係合状態で互いに噛み合う第1係合体115aと第1被係合体115bの隅角部同士120は、互いの係合が外れ難いように角をつけて形成され

る。

ヒンジ104側の第2係合部116も第1係合部115と同様に、蓋体106側の第2係合体116aと交換用カバー107側の第2被係合体116bとから構成される。ヒンジブロック113には、その下端から蓋体106上に重ね合わされる交換用カバー107へ向かって上下方向に貫通孔121が形成され、この貫通孔121によってヒンジブロック113には部分的に、内壁部113aと外壁部113bとが形成される。そして外壁部113bにはこれより貫通孔121内へ突出させて第2係合体116aが形成される。他方、交換用カバー107には、そのヒンジ側端縁全体を蓋体106側に向かって垂下させて、蓋体106のヒンジ側端縁全体に形成された凹所122に嵌め合わされる垂下部123が形成されるとともに、この垂下部123よりも内側には、貫通孔121内に挿入されて第2係合体116aと係脱自在に係合される第2被係合体116bが形成される。

本実施形態にあっては、交換用カバー107にはこれより貫通孔121内に垂下させてバネ性を発揮する可撓変形自在なベント片124が形成され、このベント片124の下端に、第2係合体116aと向かい合うように突出させて第2被係合体116bが形成される。これら第2係合体116aと第2被係合体116bも、交換用カバー107を蓋体106の上から重ね合わせると、第2被係合体116bが第2係合体116aを乗り越えて互いに係脱自在に係合されるようになっている。この第2係合部116にあっては、乗り越える過程で第2係合体116aおよび第2被係合体116bが互いに向かい合う面は、その乗り越えをスムーズにするためにテーパ面125、126で形成される一方で、係合状態で互いに噛み合う第2係合体116aと第2被係合体116bの隅角部同士127は、互いの係合が外れにくいように角をつけて形成される。また第2被係合体116bのテーパ面126については、貫通孔121を介してヒンジブロック113の下端からの操作が可能であって、第2係合部116の係合を離脱させる際の操作部としても機能する。

本実施形態にかかる化粧料容器101の作用について説明すると、化粧料容器101を購入した購買者が蓋体106に装着されている交換用カバー107を、他のデザインの新たな交換用カバー107に交換する際には、蓋体106で容器本体103を閉じている状態で、ヒンジブロック113の下端から貫通孔121内へ第2被係合体

116bのテープ面126に向かって、例えばコインなどの操作用の物品Cを挿抜自在に挿入する。当該物品Cでテープ面126を押圧操作すると、ベント片124の可撓変形を伴って第2被係合体116bは第2係合部116aから離脱され、その後交換用カバー107を蓋体106に対して引き上げるようにする。このようにして第2係合部116を離脱させて交換用カバー107を蓋体106から分離させると、第1係合部115の第1係合体115aと第1被係合体115bとの係合を離脱させることができ、交換用カバー107を蓋体106から取り外すことができる。

次いで新たな交換用カバー107を蓋体106に装着する際には、第1係合部115を係合させた状態で、第2係合部116側において交換用カバー107を蓋体106に向かって押し付ければ、ベント片124の可撓変形を伴って、第2被係合体116bが第2係合体116aと係合し、これにより新しい交換用カバー107を蓋体106に重ね合わせて取り付けることができる。

以上説明したように当該第1実施形態にかかる化粧料容器101にあっては、蓋体106にこれを覆って交換可能に設けられる交換用カバー107と、ヒンジブロック113に、交換用カバー107へ向かって形成された貫通孔121と、貫通孔121内に形成された第2係合体116aと、交換用カバー107に形成され、貫通孔121内に挿入されて第2係合体116aと係脱自在に係合する第2被係合体116bとを備えたので、化粧料容器101の外観が生産者の選定したデザインに限定されることはなく、化粧料容器101として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高め得るものとすることができる。また交換用カバー107としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー107から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがなくて、製品としての化粧料容器101を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することができる。

また、交換用カバー107と蓋体106との間にこれらを係脱自在に係合する第1係合部115および第2係合部116を設けていて、これら係合部115、116の係脱操作によって、簡単に交換用カバー107の交換をすることができる。特に、ヒンジブロック113に形成した貫通孔121内に第2係合部116を設けていて、ヒンジブロック113を利用してすることで、化粧料容器101の外形寸法を大きくするこ

となく、合理的に第2係合部116を備えることができる。また、貫通孔121をヒンジブロック113の下端から交換用カバー107に向かって形成するようにしたので、交換操作位置となる貫通孔121は化粧料容器101の底部もしくは裏側に開口されて目立つことはなく、化粧料容器101の外観を良好に保つことができる。また、交換用カバー107に可撓変形自在なベント片124を形成してこれに第2被係合体116bを設けたので、ベント片124の可撓変形作用を利用して、第2係合部116の係脱操作の操作性を向上させることができる。

第4図には、上記第1実施形態の変形例が示されている。この変形例では、第2係合体116aと第2被係合体116bとが係合する向きを反対とするように、ヒンジブロック113の内壁部113aに第2係合体116aが形成されている。このような変形例にあっても、上記実施形態と同様の作用・効果を奏することはもちろんである。

### 《第2実施形態》

第5図～第9図は本発明にかかる化粧料容器の第2実施形態を示す。この第2実施形態にかかる化粧料容器201は、収納凹部202が形成された皿状の合成樹脂製容器本体203と、容器本体203の前後方向後端にヒンジ204を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体203を開閉するとともに、容器本体203の前端にフック205を介して係脱自在に係合されて当該容器本体203の閉止状態を維持する板体状の合成樹脂製の蓋体206と、蓋体206に着脱自在に設けられ、交換可能に蓋体206の外面206aを覆う板体状の合成樹脂製の交換用カバー207とから主に構成される。

交換用カバー207の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよい。また、交換用カバー207は容器本体203を覆って設けられてもよく、また蓋体206および容器本体203の双方に設けられてもよい。図示例にあっては、これら容器本体203、蓋体206、並びに交換用カバー207は平面外形輪郭が矩形状に形成されるけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体206の内面206bには、鏡208が取り付けられている。

フック205は、容器本体203の前端に形成された凹所209内に突設されたフ

ック用突起 210 と、蓋体 206 の前端から垂下されてフック用突起 210 に係脱自在に係合されるフック片 211 とから構成される。またヒンジ 204 は、フック 205 とは反対側において容器本体 203 の後端から一対突設されたヒンジ片 212 間に、蓋体 206 の後端から垂下させたヒンジブロック 213 が挟み込まれ、これらヒンジブロック 213 からヒンジ片 212 にわたって形成したピン穴 214 にヒンジピン(図示せず)が挿入されることで構成され、ヒンジブロック 213 はヒンジピンを介してヒンジ片 212 に対し回動自在に連結される。

交換用カバー 207 は、化粧料容器 201、本実施形態にあっては蓋体 206 の意匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー 207 に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりするがないように、交換用カバー 207 に対し一般周知の方法によって一体不可分に分離不能に一体的に形成される。

これら交換用カバー 207 は、その外形輪郭が容器本体 203 の外形輪郭と一致するようにはほぼ同じ外形寸法で形成されるとともに、この交換用カバー 207 が取り付けられる蓋体 206 は、取り付け代を確保するためにこれらよりも若干小さな外形寸法で形成され、交換用カバー 207 はこの蓋体 206 の上にこれを覆って重ね合わされる。

交換用カバー 207 には、その外周縁から蓋体 206 側に垂下させて環状の垂下部 215 が形成される。フック 205 側に位置する垂下部 215 には、容器本体 203 の左右幅方向に適宜間隔を隔てて、交換用カバー 207 の下面 207a 側へ折り返すことで係合突部 216 が形成され、この係合突部 216 によって角付けされた入隅部 217 が形成される。また、交換用カバー 207 の下面 207a には、ヒンジブロック 213 直上位置から下方へ突出させて、水平方向に可撓変形自在な被係合部としての弾性片 218 が設けられる。この弾性片 218 の下端には、これより蓋体 206 の前後方向前方へ突出させて係止突起 219 が形成され、この係止突起 219 によって、弾性片 218 には角付けされた入隅部 220 が形成される。

他方、蓋体 206 には、その外周壁 206c から外方へ突出させて、交換用カバー 207 の垂下部 215 が載置される環状のフランジ部 221 が形成される。またフッ

ク205側に位置する外周壁206aにはこれを塞まることで、交換用カバー207の係合突部216を挿抜自在に挿入するための係合凹部222が形成され、この係合凹部222によって、角付けされた出隅部223が形成される。そして、交換用カバー207を蓋体206のフック205側から装着して係合突部216を係合凹部222に差し込むことにより、入隅部217が出隅部223に対して上下方向へは離脱不能に、かつ水平方向へは係脱自在に係合されるようになっている。

また、蓋体206にはその外面206a側からヒンジブロック213へわたって上下方向に塞ませて、弾性片218が挿抜自在に挿入される第1の溝224が形成される。また、ヒンジブロック213には、鏡208に面する、すなわち蓋体206の外面206aとは反対側の蓋体206の内面206b側からほぼ水平方向へ塞ませて、第1の溝224と連通される第2の溝225が形成され、これら第1の溝224および第2の溝225によりヒンジブロック213には、L字状の通孔が形成される。

第1の溝224内部には、その内面から蓋体206の前後方向後方へ弾性片218の係止突起219に向かって突出させて係合部としての凸状リブ226が形成され、この凸状リブ226により、角付けされた入隅部220に向かい合う出隅部227が形成される。そしてこの出隅部227は、第1の溝224内に挿入された弾性片218の係止突起219が凸状リブ226下に係止されることにより、入隅部220と上下方向に離脱不能にかつ水平方向に係脱自在に係合される。

第2の溝225は、第1の溝224内部で凸状リブ226に係合している弾性片218の係止突起219を離脱させるべく、弾性片218を可撓変形させる水平方向の操作力を加えるために備えられ、係止突起219が達する位置において、当該第1の溝224と連通される。そしてこの第2の溝225には、弾性片218に操作力を加えるためのコインなどの押圧操作具Pが挿入され、挿入した押圧操作具Pによって弾性片218を水平方向に変形させることができるようになっている。

さらに、係止突起219および凸状リブ226にあっては第6図に示すように、係止突起219が凸状リブ226を乗り越える過程で互いに向かい合う面が、その乗り越えをスムーズにするためにテーパ面228、229で形成される。そしてまた、係止突起219のテーパ面229と第2の溝225の内面との間には第7図に示すように、交換用カバー207を蓋体206から離隔させるべく、弾性片218を第1の溝22

4に沿って押圧するために、第2の溝225の奥に向かって、すなわち押圧操作具Pの挿入方向に沿って順次狭められ、押圧操作具Pが差し入れられることによりその操作力の一部を押圧力に変換するくさび状の隙間Gが形成される。

この第2実施形態にかかる化粧料容器201の作用について説明すると、化粧料容器201を購入した購買者が蓋体206に装着されている交換用カバー207を、他のデザインの新たな交換用カバー207に交換する際には、蓋体206を回動させて容器本体203を開き、第7図に示すように蓋体206の内面206bに現れた第2の溝225内へ、係止突起219に向かって押圧操作具Pを挿入する。

押圧操作具Pで係止突起219を押圧操作すると第8図に示すように、弾性片218が第1の溝224内で水平方向に可撓変形され、この可撓変形に伴って係止突起219が凸状リブ226から離脱されて、蓋体206に対する交換用カバー207の係止状態が解除されるとともに、これと同時に、くさび状隙間Gに差し込まれた押圧操作具Pが弾性片218を第1の溝224に沿って下方へ押し下げる作用も発揮し、これら係止突起219および凸状リブ226の係合解除と、弾性片218の押し下げによって交換用カバー207は、第9図に示すように蓋体206から跳ね出されるようにして分離される。

その後は、交換用カバー207を蓋体206の水平方向前方へ押し出せば、係合突部216を係合凹部222から離脱させることができ、これにより交換用カバー207を蓋体206から取り外すことができる。

次いで、新たな交換用カバー207を蓋体206に装着する際には、蓋体206前端側において係合突部216を係合凹部222に差し入れて係合させる一方で、蓋体206後端側においては、弾性片218を第1の溝224内に挿入してそのまま交換用カバー207を蓋体206に向かって押し付ければ、弾性片218の可撓変形を伴って係止突起219が凸状リブ226を乗り越えると同時に入隅部220が出隅部227と係合し、これにより新しい交換用カバー207を蓋体206に重ね合わせて取り付けることができる。

以上説明したように本実施形態にかかる化粧料容器201にあっては、蓋体206の外面206aにこれを覆って交換可能に設けられる交換用カバー207と、蓋体206の外面206a側から窪ませて形成された第1の溝224と、第1の溝224内

部に形成された凸状リブ226と、交換用カバー207に形成され、第1の溝224内に挿入されて凸状リブ226に係脱自在に係合される可撓変形自在な弾性片218と、蓋体206の内面206b側から窪ませて、第1の溝224に連通させて形成され、第1の溝224内部で凸状リブ226に係合している弾性片218を可撓変形させて凸状リブ226から離脱させるべく、当該弾性片218に操作力を加えるための第2の溝225とを備えたので、化粧料容器201の外観が生産者の選定したデザインに限定されることはなく、化粧料容器201として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高め得るものとすることができる。

また、交換用カバー207としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー207から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがなくて、製品としての化粧料容器201を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することができる。また、弾性片218に操作力を加えるための第2の溝225を、蓋体206の内面206b側から窪ませて形成したので、化粧料容器201の外観を凹凸のない良好なものとすることができます。

また、弾性片218の係止突起219と第2の溝225との間に、交換用カバー207を蓋体206から離隔させる方向へ押圧するために、操作力の一部を押圧力に変換するくさび状隙間Gを形成したので、交換用カバー207を取り外す際には、このくさび状隙間Gを利用した弾性片218の押圧によって、交換用カバー207を蓋体206に対して跳ね出させることができ、これにより使用者は、交換用カバー207が蓋体206から離脱したことを知得できるとともに、交換用カバー207が蓋体206から浮き上がった状態となるので、これら両者が重ね合わされている場合よりも、容易に交換用カバー207を蓋体206から取り外すことができる。

また、係合突部216と係合凹部222、並びに係止突起219と凸状リブ226、特に可撓変形される弾性片218の係止突起219とこれに係合する凸状リブ226とを、上下方向には離脱不能に角付けされた入隅部217、20と出隅部223、27とで係脱自在に係合したことにより、交換用カバー207を蓋体206にしっかりと取り付け固定することができ、落下などによって化粧料容器201に大きな衝撃が加わったとしても、これによって交換用カバー207が蓋体206から簡単に脱落す

ることを確実に防止することができる。

このように交換用カバー207を蓋体206に安定的保持できる一方で、蓋体206に対する交換用カバー207の押し付け操作や、弹性片218を可撓変形させる第2の溝225からの操作によって係止突起219と凸状リブ226とを容易に係脱させることができ、簡単に交換用カバー207の交換を行うことができる。

また、係止突起219のテープ面29は、凸状リブ226との係止を円滑化する機能も併せ持ち、交換用カバー207の装着操作を円滑化することができる。さらに、ヒンジブロック213を利用して、これに第1の溝224および第2の溝225を形成するようにして、交換用カバー207の交換操作のために化粧料容器201の外形寸法が大きくなってしまうことを防止することができる。

上述した本第2実施形態にあっては、蓋体206に交換可能にこれを覆う交換用カバー207を着脱自在に設ける場合を例にとって説明したが、容器本体203に交換用カバー207を設けるようにしても良い。この場合、交換用カバー207については上記実施形態と同様に構成すれば良く、他方、第1の溝224は容器本体203の外面から、そして第2の溝225は収納凹部202側から形成するようにすればよい。

本第2実施形態にあっては、ヒンジ204やフック205を備えた化粧料容器201を例示して説明したが、これに限らず、容器本体203に対してネジ構造や径嵌合構造によって蓋体206を着脱するタイプの各種容器に適用してもよいことはもちろんである。

#### 産業上の利用可能性

以上、本発明の実施形態によって詳細に説明したように、本発明に係わる化粧料容器によれば、容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方、交換可能にこれらを覆う交換用カバーを着脱自在に設けることにより、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができるとともに、かつまた購買者が好みに応じて外観を選択し得る自由度を高めることができる。

## 請求の範囲

1. 容器本体に回動自在に連結されるヒンジ部を有して当該容器本体を開閉する蓋体を備えた化粧料容器において、

上記蓋体にこれを覆って交換可能に設けられる交換用カバーと、上記ヒンジ部に、上記交換用カバーへ向かって形成された貫通孔と、該貫通孔内に形成された係合体と、上記交換用カバーに形成され、上記貫通孔内に挿入されて上記係合体と係脱自在に係合する被係合体とを備えたことを特徴とする化粧料容器。

2. 容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、

上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方の外面に、これらを覆って交換可能に設けられる交換用カバーと、上記蓋体もしくは上記容器本体の外面側から窪ませて形成された第1の溝と、該第1の溝内部に形成された係合部と、上記交換用カバーに形成され、上記第1の溝内に挿入されて上記係合部に係脱自在に係合される可撓変形自在な被係合部と、上記蓋体もしくは上記容器本体の内面側から窪ませて上記第1の溝に連通させて形成され、該第1の溝内部で上記係合部に係合している上記被係合部を可撓変形させて該係合部から離脱させるべく、該被係合部に操作力を加えるための第2の溝とを備えたことを特徴とする化粧料容器。

## 要 約 書

容器本体とこれを開閉する蓋体とを有する化粧料容器において、上記蓋体および上記容器本体の少なくともいずれか一方に、交換可能にこれらを覆う交換用カバーを着脱自在に設けることにより、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることを可能にするとともに、かつまた購買者が好みに応じて外観を選択し得る自由度を高めることを可能にする。